

(資 料 配 付)

作 成 年 月 日	平成 30 年 2 月 19 日
作成部局課室名	企画県民部広報課広聴室

第 4 回県民モニターアンケート「防災に対する意識と取組」の調査結果

第 4 回県民モニターアンケート調査「防災に対する意識と取組」の調査結果をとりまとめました。
アンケート結果は、防災・減災対策の推進や防災力強化県民運動の展開に活用します。

1 調査概要

- (1) 調査対象者：県民モニター2,589人
- (2) 調査期間：平成30年1月5日(金)
～1月19日(金)[15日間]
- (3) 調査方法：県ホームページ上のアンケートフォームに入力
- (4) 回答者数：1,840人(回答率71.1%)

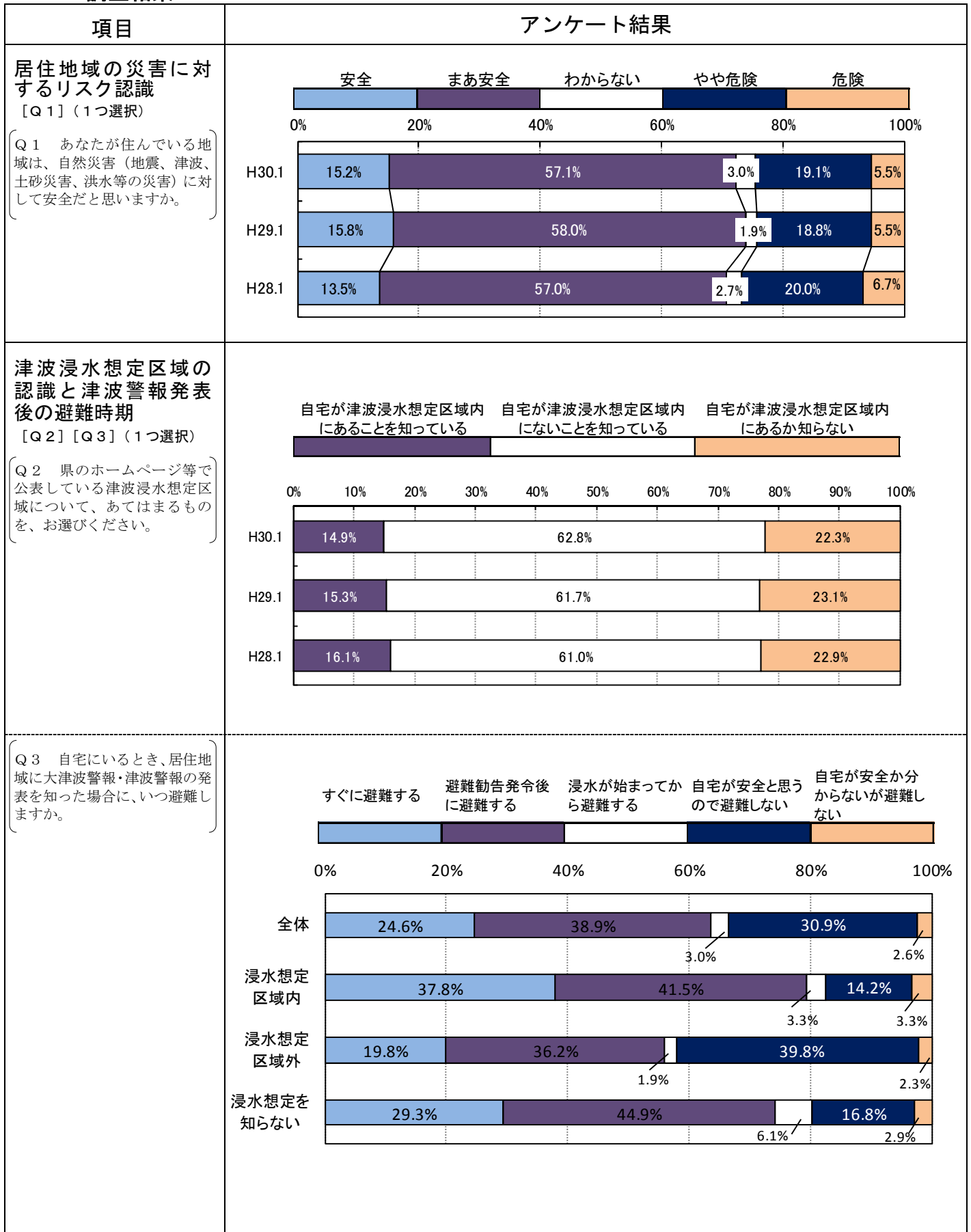
＜参考－対象者及び回答者属性＞

		対象者	回答者	回答率
総 数		2,589	1,840	71.1%
性 別	男 性	1,248	944	75.6%
	女 性	1,341	896	66.8%
年 代 別	10～20代	173	85	49.1%
	30代	345	209	60.6%
	40代	543	341	62.8%
	50代	477	339	71.1%
	60代	568	477	84.0%
	70代以上	483	389	80.5%

2 調査結果の概要

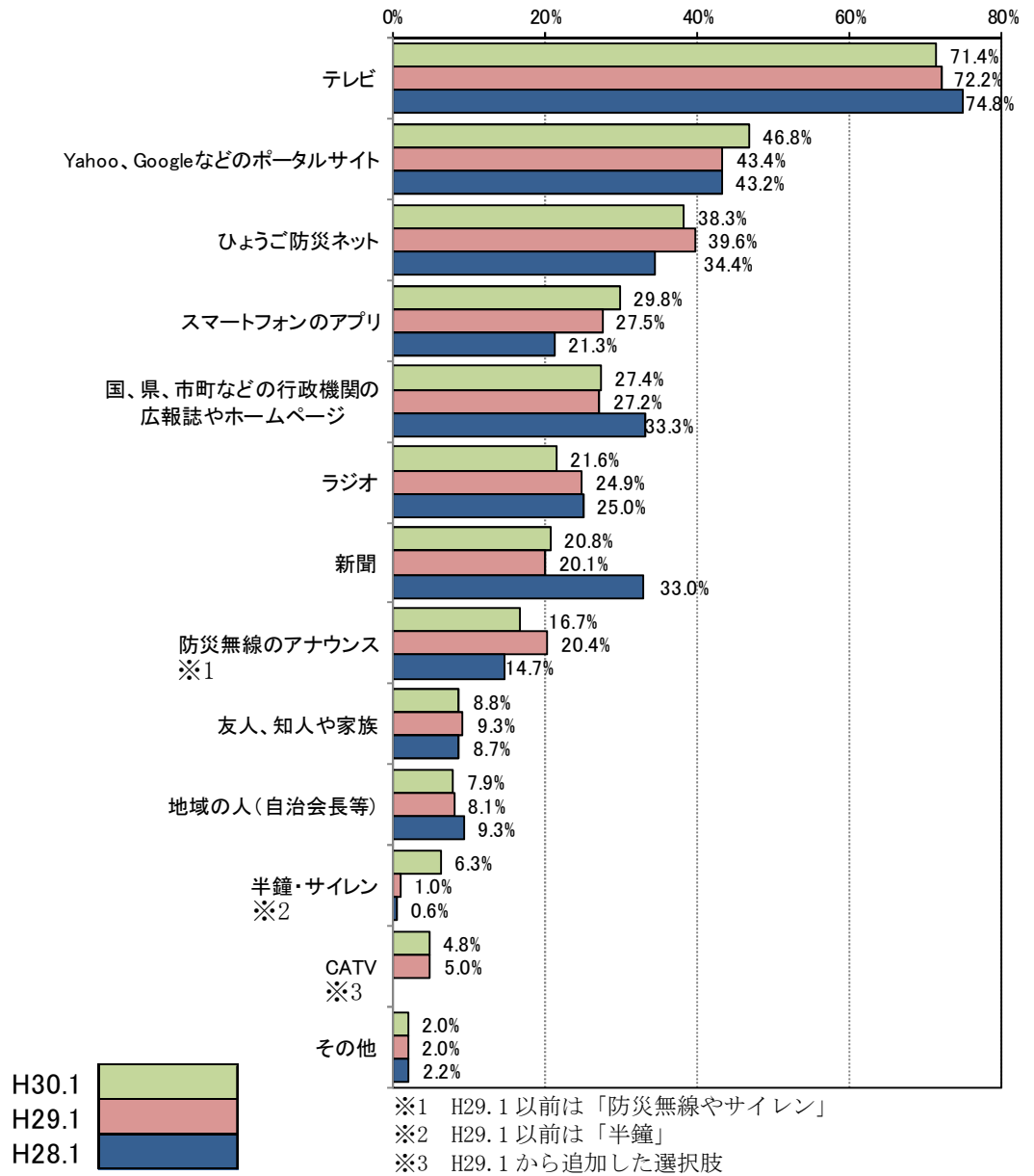
項目	結果概要
居住地域の災害に対するリスク認識	住んでいる地域が、自然災害に対して「安全(15.2%)」だと思ふ人と「まあ安全(57.1%)」だと思ふ人は、合わせて72.3%となった。
津波浸水想定区域の認識	自宅が津波浸水想定区域内に「あることを知っている(14.9%)」と「ないことを知っている(62.8%)」を合わせた77.7%の人が、津波浸水想定区域を認識している。
津波警報発表後の避難時期	「すぐに避難する(24.6%)」と「市町の避難勧告等が発令された後に避難する(38.9%)」との合計は、全体で63.5%となり、自宅が津波浸水想定区域内にあると知っている人に限ると、79.3%となった。
防災情報の入手方法	「テレビ(71.4%)」が最も多く、次いで「Yahoo等のポータルサイト(46.8%)」、「ひょうご防災ネット(38.3%)」が多い。
Jアラートの認知度	「内容も含め、知っている」が69.2%となった。
弾道ミサイル飛来時の避難行動	「知っている」が47.0%となった。
望ましい避難情報提供手段	「緊急速報メール[エリアメール](60.5%)」が最も多く、続いて「テレビ(59.1%)」、「市町の広報車や消防車両(52.3%)」、「インターネット[ホームページ](47.7%)」、「防災無線のアナウンス(46.7%)」となった。
災害への備え	「飲料水や食料品の備蓄(67.4%)」が最も多く、続いて「家具等の固定(43.8%)」、「携帯トイレ又は凝固剤の備蓄(26.8%)」となった。 飲料水や食料品の備蓄量について、「1日～2日」と答えた人は、飲料水で44.6%、食料品で46.1%、「3日」と答えた人は、飲料水で33.6%、食料品で30.4%であった。
防災訓練への参加(最近1年以内)	参加したことがある訓練は、「自治会、学校、職場等が実施する訓練(40.6%)」が最も多く、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」は41.3%となった。

3 調査結果



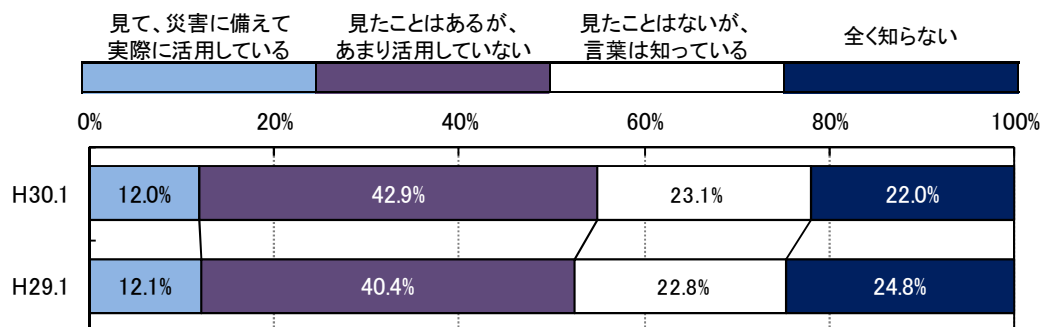
防災情報の入手方法
[Q4] (いくつでも選択)

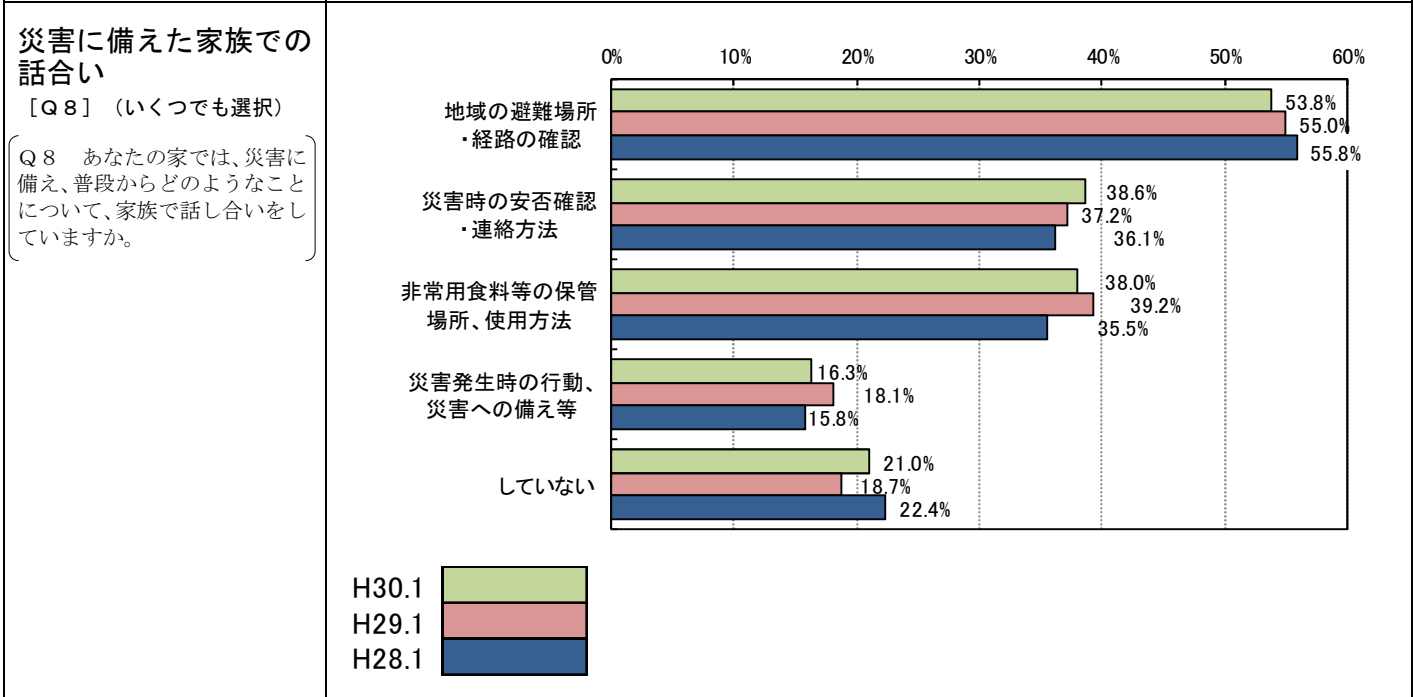
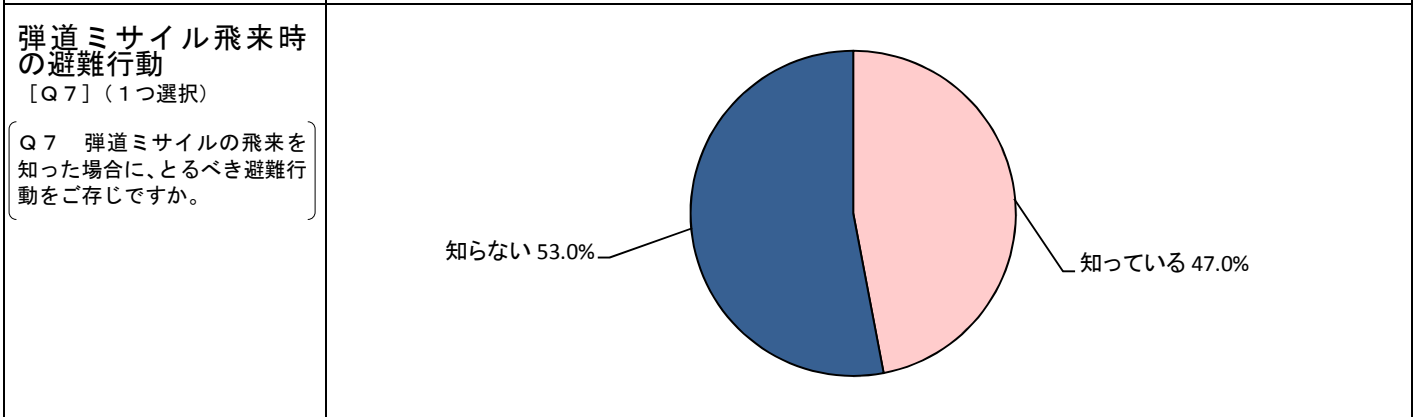
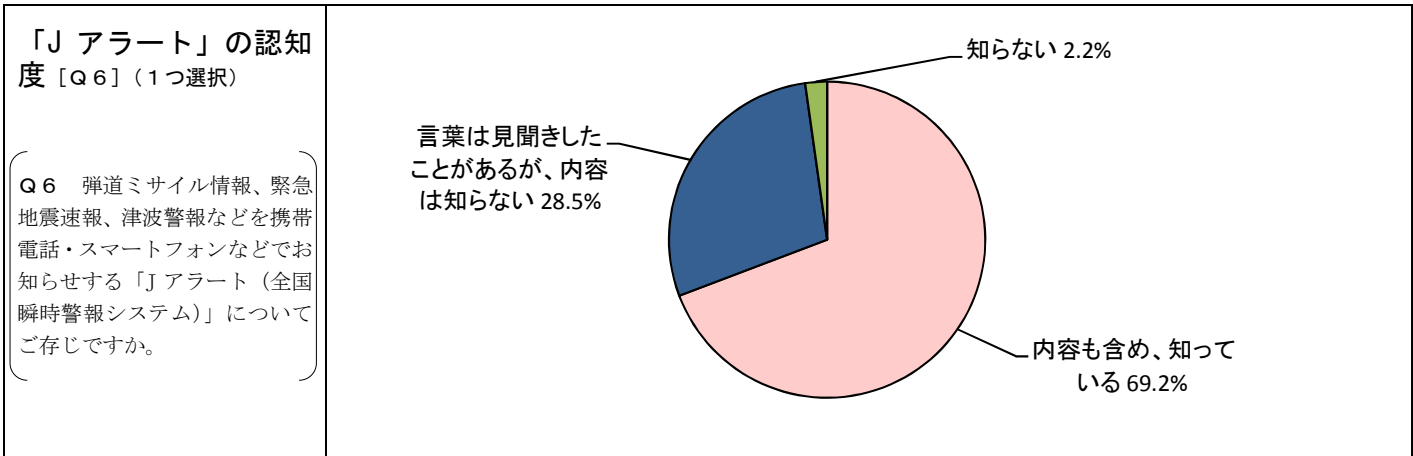
Q4 あなたは、気象情報やハザードマップなどの防災に関する情報を平常時や台風の接近など危険が近づきつつある時にどちらから入手されていますか。



「兵庫県CGハザードマップ」の認知度
[Q5] (1つ選択)

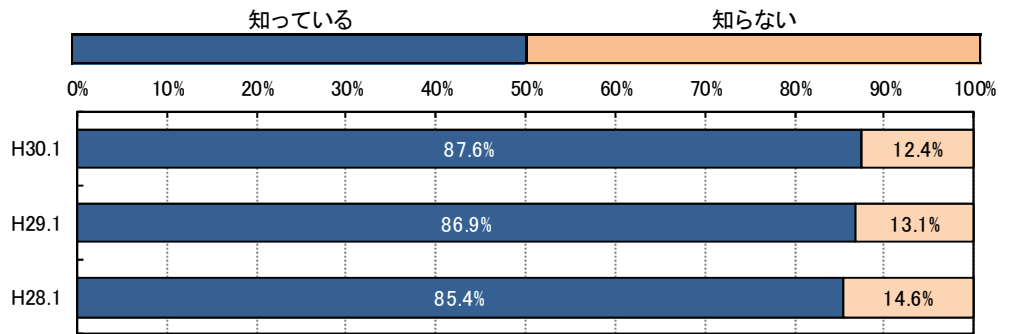
Q5 あなたは「兵庫県CGハザードマップ」を知っていますか。





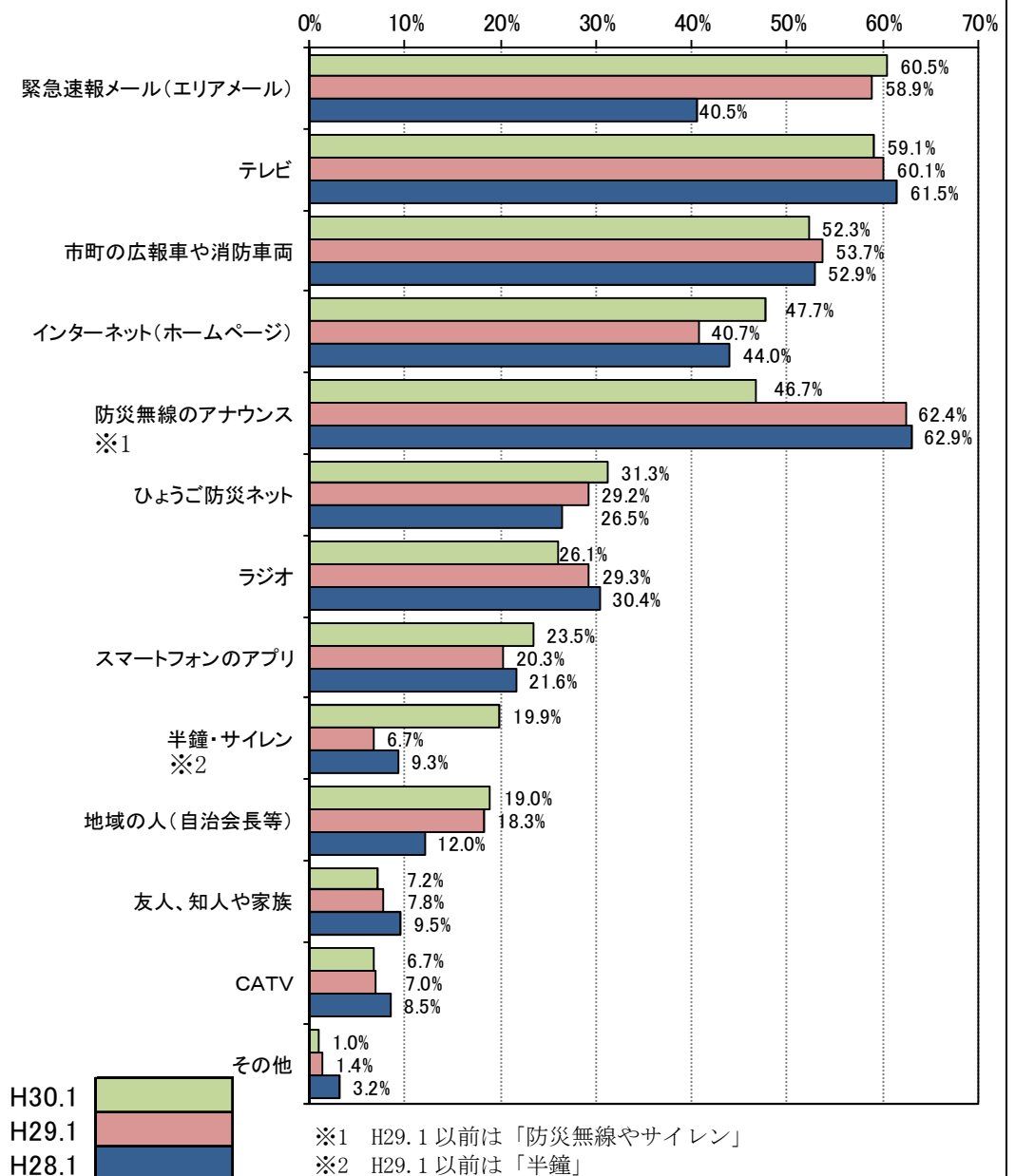
避難場所の認知度
[Q9] (1つ選択)

Q9 お住まいの地区で指定された避難場所を知っていますか。



望ましい避難情報提供手段
[Q10] (いくつでも選択)

Q10 あなたは、災害時の避難情報（「避難準備・高齢者等避難開始」・「避難勧告」・「避難指示（緊急）」）について、その情報をどのような手段で提供して欲しいですか。あてはまるものをお選びください。

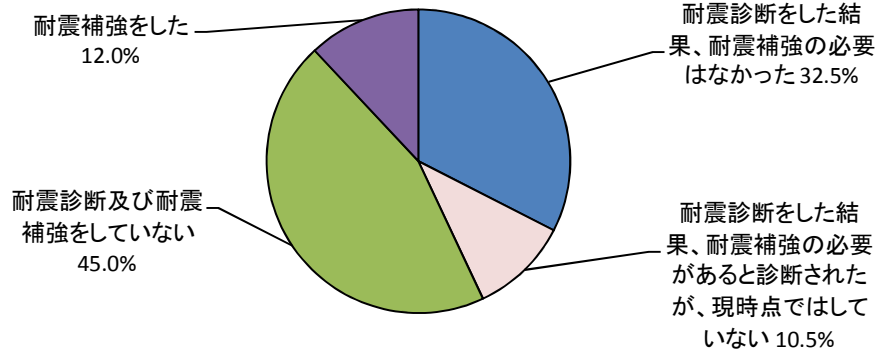


耐震診断・耐震補強の実施状況

【Q11】(1つ選択)

住んでいる戸建て住宅・マンション等(木造・鉄筋コンクリート・鉄骨造住宅にかかわらず。賃貸除く。)が、昭和56年以前に建築された人(609人)が回答。

Q11 あなたは、耐震診断又は耐震補強をしましたか。

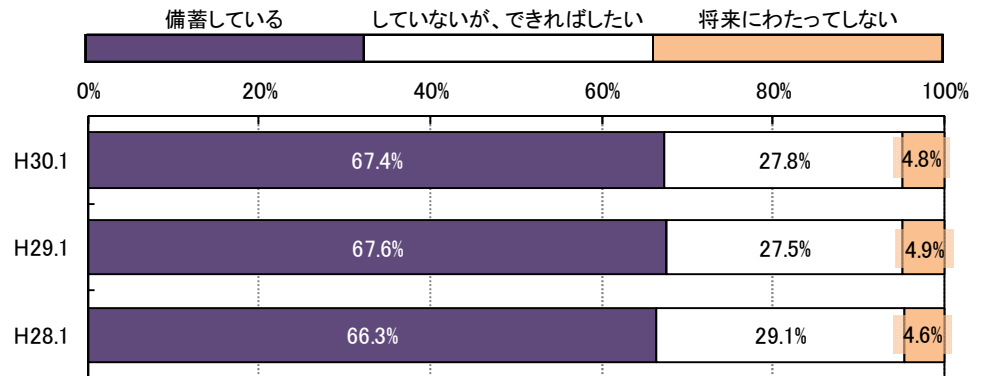


災害への備え

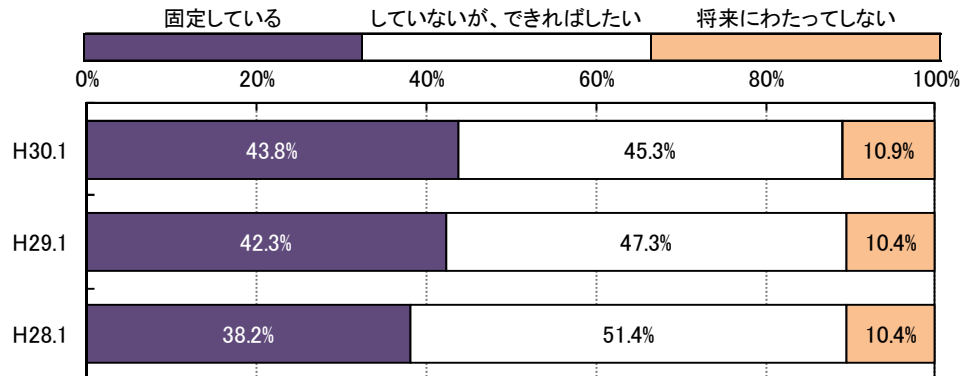
【Q12】(それぞれ1つ選択)

Q12 あなたが災害に備えてしていること、現時点ではしていないが、できればしたいと思っていることについて、あてはまるものを次の中からお選びください。

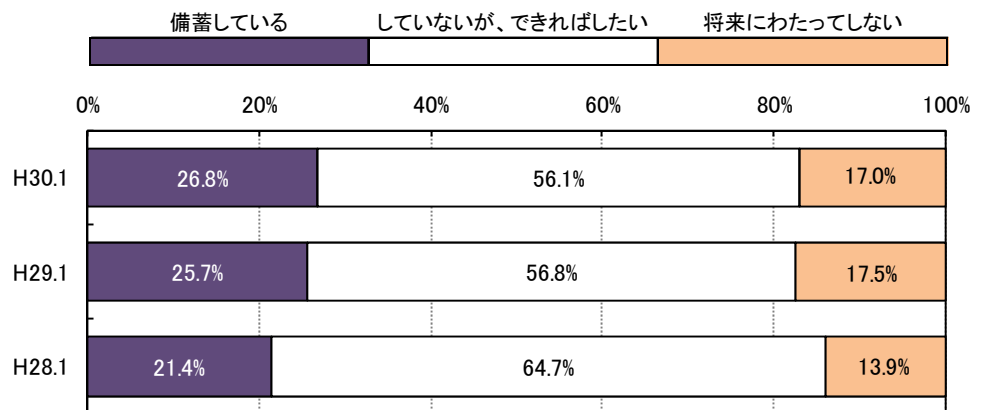
【飲料水や食料品の備蓄】



【家具等の固定】



【携帯トイレ又は凝固剤の備蓄】

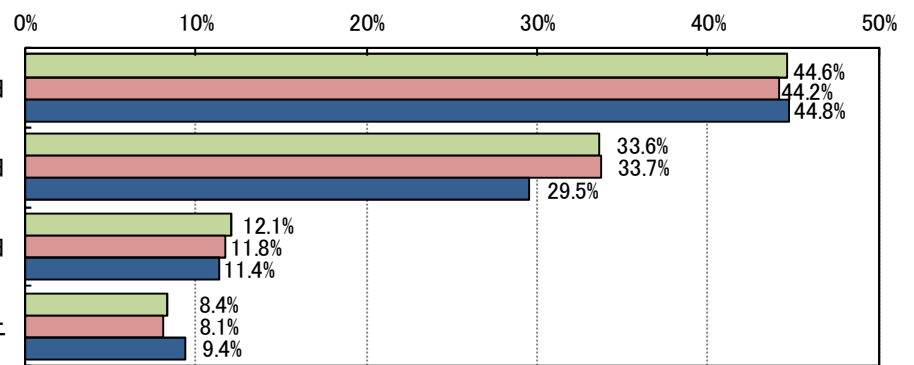


飲料水や食料品の備蓄
 [Q12-2] (それぞれ1つ選択)

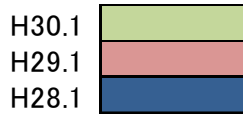
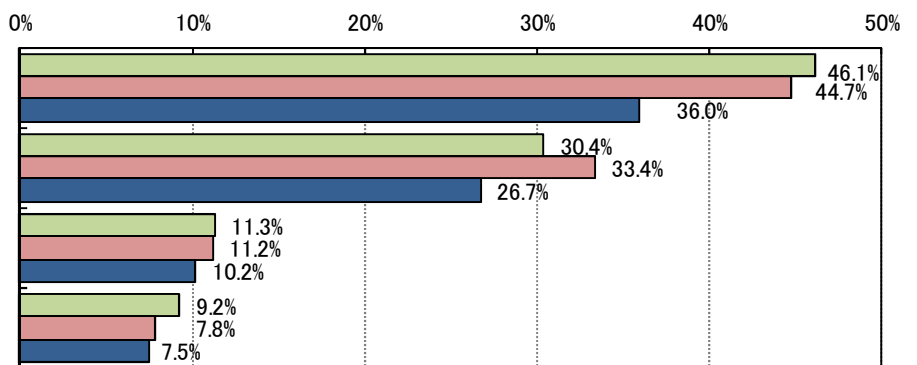
[Q12]で「飲料水や食料品の備蓄をしている」と答えた人に質問

Q12-2 家庭での備蓄は何日分ですか。(【飲料水】と【食料品】それぞれ一つずつ)
 ※ 1日分は、飲料水では一人3リットル、食料品では3食分を目安に、それぞれ家族全員で何日分備蓄があるかお答えください。

【飲料水】



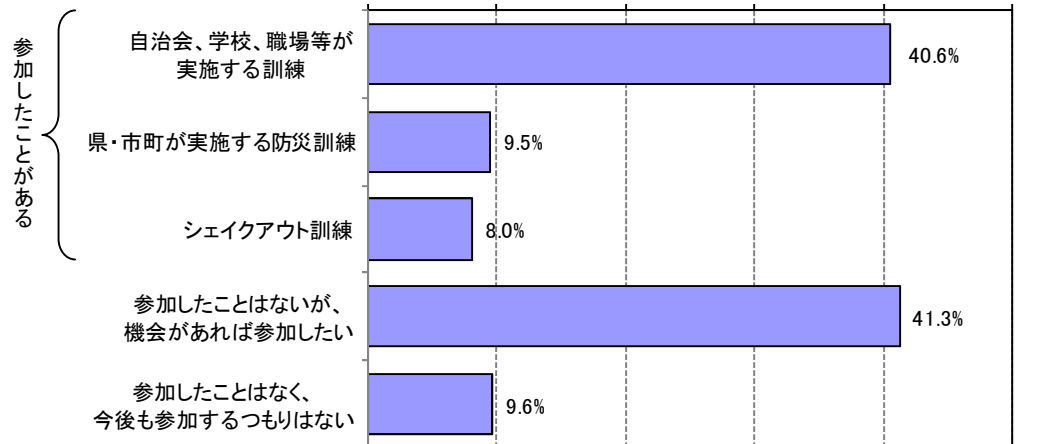
【食料品】



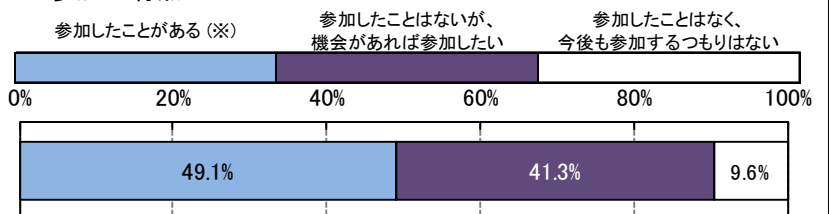
防災訓練への参加
 (最近1年以内)

[Q13] (いくつでも選択)

Q13 あなたが、この1年以内に参加した自然災害に対する防災訓練はどれですか。



〈参考〉防災訓練への参加の有無

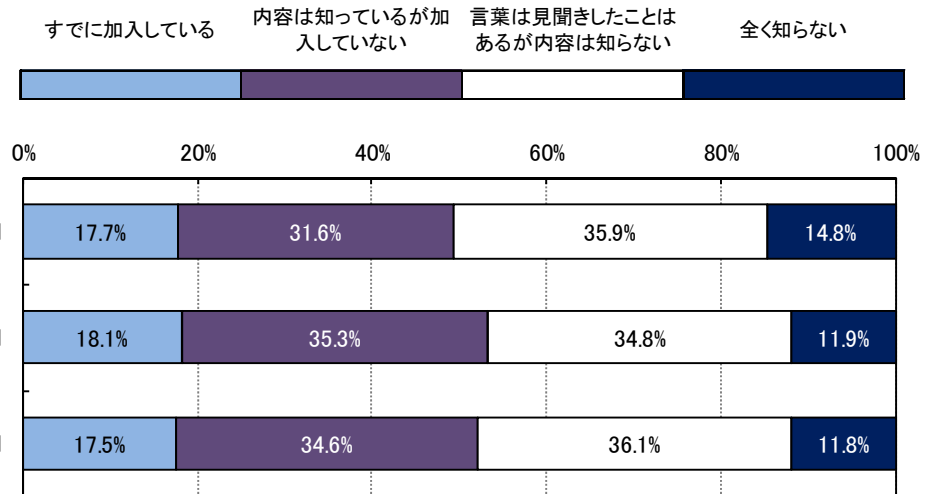


※ 参加したことがある人の実人数の割合

兵庫県住宅再建共済制度の認知度

[Q14] (1つ選択)

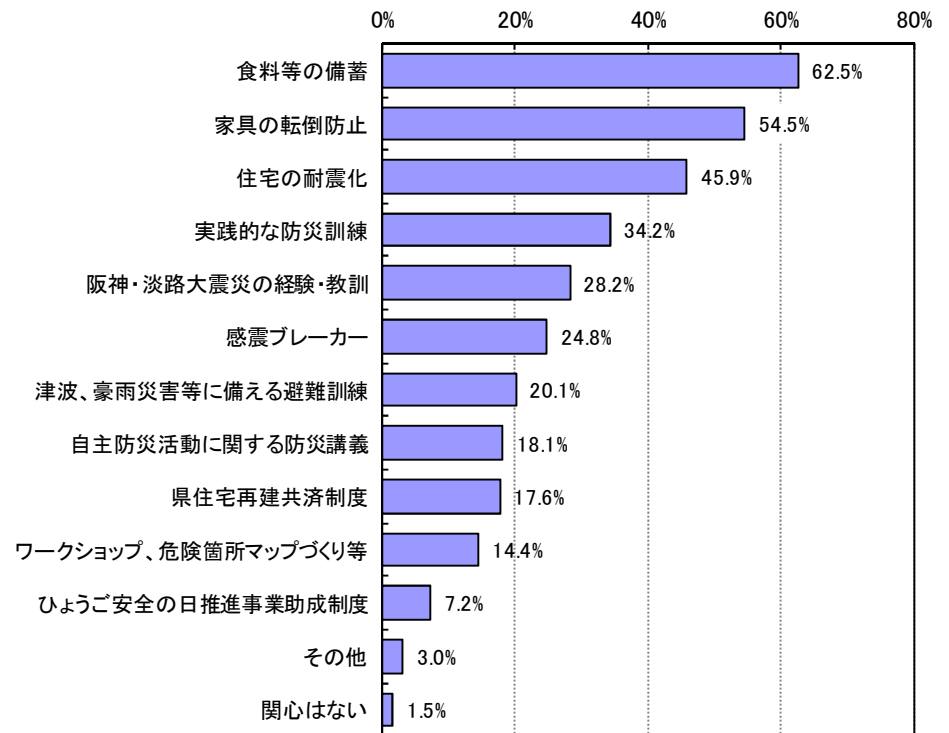
Q14 あなたは、兵庫県住宅再建共済制度(フェニックス共済)をご存じですか。



防災対策の関心度

[Q15] (いくつでも選択)

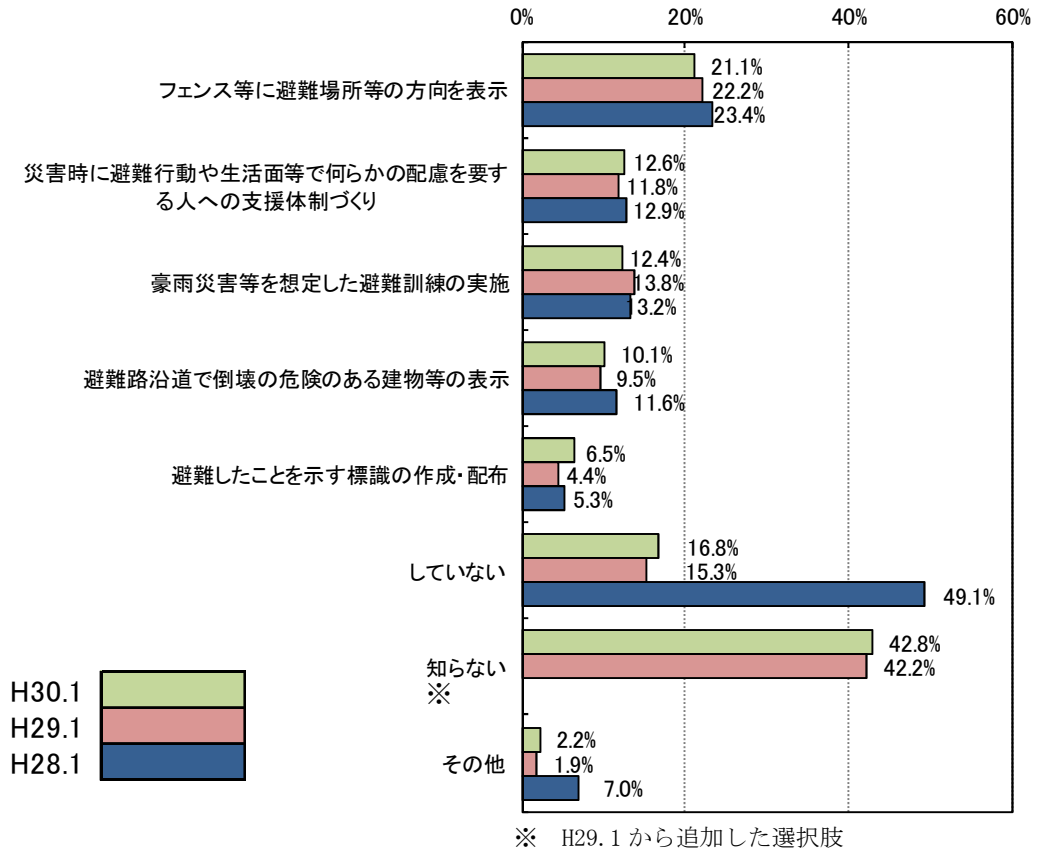
Q15 あなたは、防災対策として関心があるものはどれですか。



安全に避難するための地域での取組

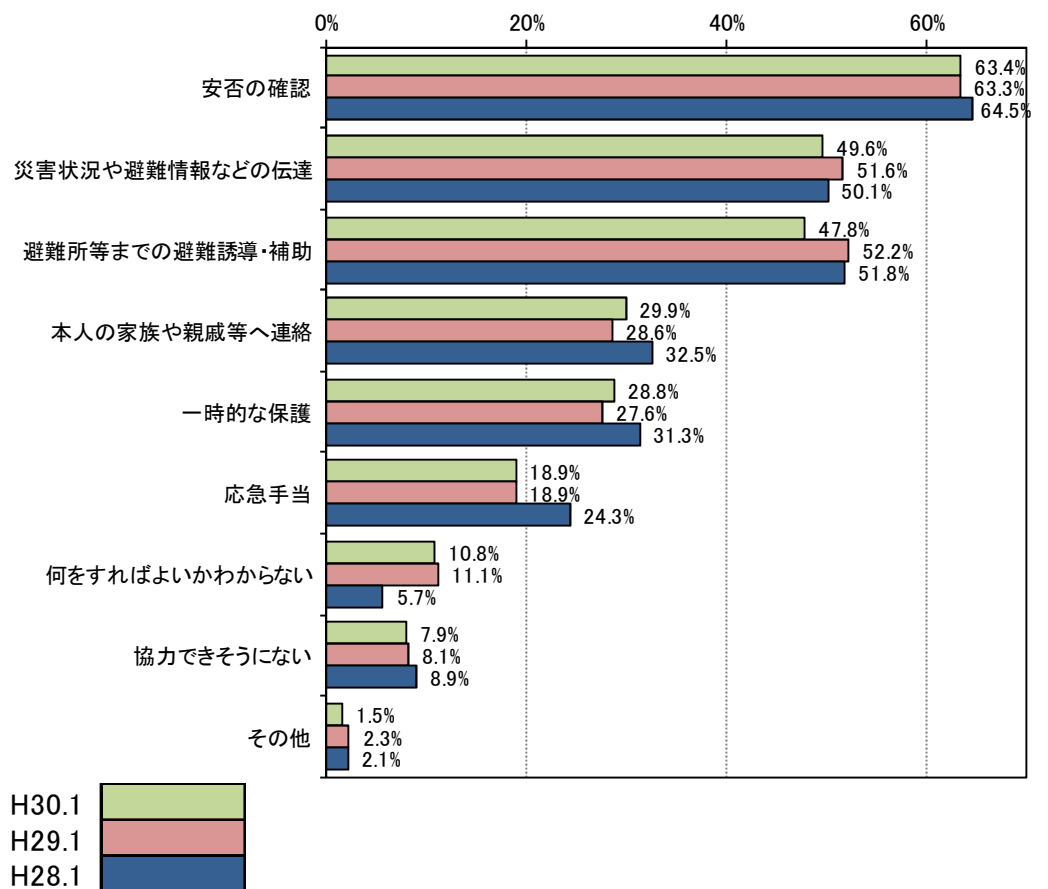
[Q16] (いくつでも選択)

Q16 津波や豪雨災害において安全に避難するために、あなたの地域で取り組まれていることは何ですか。



要援護者の避難への協力 [Q17] (いくつでも選択)

Q17 地震や豪雨などの災害が発生したときに、あなたの近所に住んでいる高齢者、障害者、妊産婦、外国人など、自力で避難することが困難な人(あなたの家族を除く)に対して、あなたはどのような協力ができそうだと思いますか。

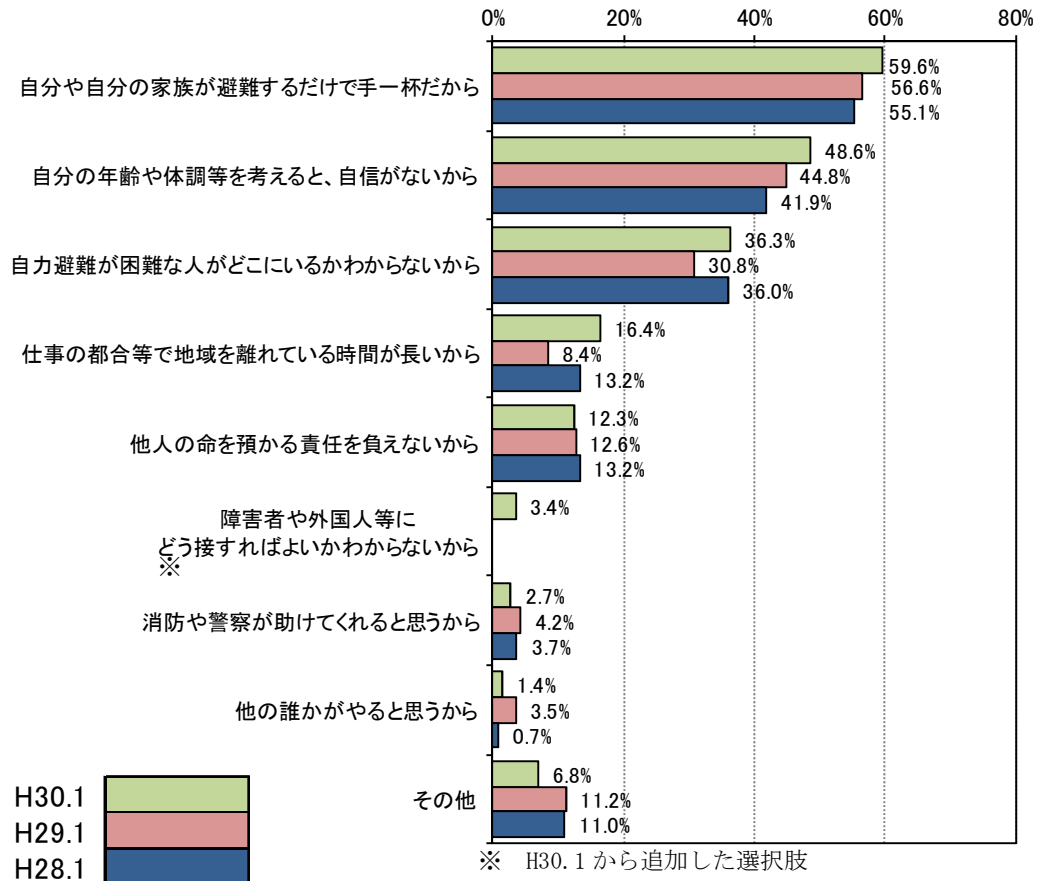


**協力できそうにない
と考える理由**

[Q17-2] (いくつでも選択)

[Q17]で「協力できそうにない」と答えた人に質問

Q17-2 あなたが協力できそうにないのはどのような理由からですか。



【 問い合わせ先 】

企画県民部広報課広聴室 (TEL078-362-3021)

(参考) 平成 29 年度県民モニター調査実績

○平成 29 年度調査実績

回	調査テーマ	調査期間	回答率
第 1 回	ひょうごの医療と介護	5 月 15 日～5 月 29 日	78.2%
第 2 回	兵庫県の広報活動	6 月 20 日～7 月 4 日	74.0%
第 3 回	受動喫煙対策について	10 月 2 日～10 月 16 日	75.4%
第 4 回	防災に対する意識と取組	1 月 5 日～1 月 19 日	71.1%

○対象者及び回答者属性別実績

区分		第 1 回	第 2 回	第 3 回	第 4 回	4 回とも回答した人数	
総数	対象者(人)	2,289	2,366	2,578	2,589	1,313	
	回答者(人)	1,790	1,752	1,944	1,840		
	回答率	78.2%	74.0%	75.4%	71.1%		
性別	男性	対象者(人)	1,148	1,169	1,246	1,248	715
		回答者(人)	941	919	988	944	
		回答率	82.0%	78.6%	79.3%	75.6%	
	女性	対象者(人)	1,141	1,197	1,332	1,341	598
		回答者(人)	849	833	956	896	
		回答率	74.4%	69.6%	71.8%	66.8%	
年代別	10～20 代	対象者(人)	130	146	169	173	38
		回答者(人)	70	82	90	85	
		回答率	53.8%	56.1%	53.3%	49.1%	
	30 代	対象者(人)	286	304	344	345	122
		回答者(人)	199	196	212	209	
		回答率	69.6%	64.5%	61.6%	60.6%	
	40 代	対象者(人)	463	480	542	543	220
		回答者(人)	340	324	389	341	
		回答率	73.4%	67.5%	71.8%	62.8%	
	50 代	対象者(人)	431	443	474	477	249
		回答者(人)	341	329	354	339	
		回答率	79.1%	74.3%	74.7%	71.1%	
	60 代	対象者(人)	516	526	567	568	365
		回答者(人)	438	433	490	477	
		回答率	84.9%	82.3%	86.4%	84.0%	
	70 代以上	対象者(人)	463	467	482	483	319
		回答者(人)	402	388	409	389	
		回答率	86.8%	85.2%	84.9%	80.5%	

○過去 3 年の実績

年度	回	調査テーマ	回答率
H28	第 1 回	食の安全安心について	79.4%
	第 2 回	地球温暖化対策と総合治水の取組について	71.2%
	第 3 回	消費生活について	74.8%
	第 4 回	県民の防災意識及び取組状況	71.0%
H27	第 1 回	動物愛護に関する意識について	76.6%
	第 2 回	地域安全まちづくりの推進について	70.6%
	第 3 回	認知症対策について	70.4%
	第 4 回	県民の防災意識及び取組状況	66.0%
H26	第 1 回	ひょうごのユニバーサル社会づくりと介護について	74.2%
	第 2 回	ひょうごの緑化と総合治水の取組について	67.6%
	第 3 回	男女共同参画に関する意識調査について	65.5%
	第 4 回	県民の防災意識及び取組状況	64.1%